



## 2019年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス  
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴将  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月15日 配当支払開始予定日 2019年6月24日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 052-262-4499

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	8,672	15.0	390	23.8	295	32.9	180	35.1
2018年9月期第2四半期	10,199	4.5	511	11.4	440	11.9	277	17.8

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 7百万円 ( 95.6%) 2018年9月期第2四半期 167百万円 ( 57.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	17.31	17.02
2018年9月期第2四半期	25.44	24.97

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	26,114	3,191	10.9
2018年9月期	26,130	4,225	14.8

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 2,850百万円 2018年9月期 3,872百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		11.50		13.50	25.00
2019年9月期		12.50			
2019年9月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,576	12.0	875	0.9	698	3.3	380	8.3	35.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	10,956,500 株	2018年9月期	10,956,500 株
期末自己株式数	2019年9月期2Q	704,628 株	2018年9月期	57,828 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	10,403,883 株	2018年9月期2Q	10,908,485 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、消費が底堅く推移するなか、企業業績については業種により若干の温度差はあるものの、概ね堅調に推移してまいりました。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は8,672百万円(前年同四半期比15.0%減)、営業利益は390百万円(前年同四半期比23.8%減)、経常利益は295百万円(前年同四半期比32.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は180百万円(前年同四半期比35.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、2017年9月に和歌山県和歌山市に「エスケーアイ和歌山発電所」を開設し、現在8発電所(内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営)が順調に稼動する一方で、新設予定の東広島の大型プロジェクトについても今後の完成に向け順調に推進しており、更に三重県伊賀市にも発電所の新設を予定しているため、先行投資も発生している他、3月の日照時間が若干短い地域が散見され、売電金額にも影響がありました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は685百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益が258百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

#### ②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、2018年12月末現在で携帯電話の普及台数が17,262万台を超えましたが、スマートフォン(iPhone X)を中心とする新機種が2018年10月迄に発売され、各移動体通信事業者とも積極的な販売競争を展開し、電力と通信等とのセット販売も強化しましたが、端末価格の高騰化と使用期間が長期化した影響から市場環境は厳しく、販売台数は減少いたしました。当社は引き続き各店舗の動向を詳細に検証し顧客満足度の向上と総合力アップを図りながら販売促進に努めた成果から、利益確保に繋がりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ55,454台(前年同四半期比27.1%減)となりましたが、積極的な営業施策を展開し、顧客満足度の向上と各店舗の総合力を向上した結果、売上高は7,088百万円(前年同四半期比16.8%減)、営業利益は437百万円(前年同四半期比24.4%増)となりました。

#### ③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、2014年4月に開設した新潟支店の業績も順調に拡大しており、更に販売力と一人あたりの生産性の向上に繋げるほか、リスク分散も考慮し複数の保険会社の商品の取扱を継続しておりますが、保険会社のインセンティブ体系が変更となった影響はありますが、改善すべく営業施策の成果が業績に表れ始めました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は513百万円(前年同四半期比16.4%減)、営業損失は12百万円(前年同四半期は92百万円の営業利益)となりました。

#### ④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネージメント株式会社は2009年9月に設立後、2010年7月に葬儀会館「ティア西尾」をオープン以降現在5会館を運営し、当期6月には愛知県額田郡幸田町に新会館のオープンを予定しており、顧客満足度の更なる向上と今後の需要を見据えた積極的な営業活動を継続し会員の増加にも努めております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は353百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益は35百万円(前年同四半期比11.4%減)となりました。

#### ⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で2007年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しております。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は40百万円(前年同四半期比2.8%増)、営業利益は9百万円(前年同四半期比13.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は26,114百万円となり、前連結会計年度末の資産合計26,130百万円と比べ16百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,236百万円減少した一方で、売掛金が480百万円、有形固定資産が660百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は22,922百万円となり、前連結会計年度末の負債合計21,904百万円と比べ1,017百万円増加しました。これは主に、短期借入金が697百万円、長期借入金が648百万円増加した一方で、社債が250百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,191百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,225百万円と比べ1,034百万円減少しました。これは主に、自己株式が862百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の業績予想につきましては、第2四半期連結集計期間の業績は移動体通信機器販売関連事業において、携帯端末の販売台数が前年同四半期比27.1%減となった影響から、売上高が計画から乖離することが明確となり、計画の修正が必要となりました。また、各利益につきましては、移動体通信機器販売関連事業において、利益確保に向けた積極的な営業施策が奏功し、各利益への寄与が認められるため、計画の修正は不要と判断しております。したがって、通期の連結業績予想の当初計画(2018年11月12日付の決算短信で公表)につきましては、売上高のみ2,256百万円減少の16,576百万円に修正(2019年5月13日付のお知らせで公表)しております。尚、営業利益の875百万円、経常利益の698百万円、親会社株主に帰属する当期純利益の380百万円につきましては修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,690,584	4,454,226
売掛金	2,622,740	3,102,892
商品	803,021	998,679
その他	146,492	160,599
流動資産合計	9,262,839	8,716,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,973,145	2,012,646
機械装置及び運搬具(純額)	7,214,379	7,016,244
土地	2,927,758	3,048,018
建設仮勘定	2,322,300	3,008,637
その他(純額)	60,705	73,734
有形固定資産合計	14,498,288	15,159,280
無形固定資産		
のれん	180,568	180,568
その他	476,781	465,152
無形固定資産合計	657,349	645,720
投資その他の資産		
その他	1,712,234	1,600,131
貸倒引当金	—	△7,142
投資その他の資産合計	1,712,234	1,592,989
固定資産合計	16,867,873	17,397,991
資産合計	26,130,712	26,114,389
負債の部		
流動負債		
買掛金	995,070	1,139,066
短期借入金	3,882,336	4,580,000
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	843,635	895,436
未払法人税等	204,653	141,406
賞与引当金	130,451	133,793
役員賞与引当金	63,000	31,350
その他	718,904	503,841
流動負債合計	7,338,051	7,924,894
固定負債		
社債	1,240,000	990,000
長期借入金	12,228,150	12,877,071
繰延税金負債	489,264	398,568
役員退職慰労引当金	115,300	126,150
退職給付に係る負債	103,320	109,611
資産除去債務	269,184	270,484
その他	121,605	225,860
固定負債合計	14,566,824	14,997,745
負債合計	21,904,876	22,922,640

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,132,029	2,140,787
自己株式	△39,909	△902,542
株主資本合計	3,524,457	2,670,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,313	314,427
繰延ヘッジ損益	△61,884	△134,453
その他の包括利益累計額合計	348,428	179,974
新株予約権	11,287	9,787
非支配株主持分	341,662	331,402
純資産合計	4,225,836	3,191,748
負債純資産合計	26,130,712	26,114,389

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	10,199,438	8,672,370
売上原価	7,460,620	5,921,496
売上総利益	2,738,818	2,750,874
販売費及び一般管理費	2,227,070	2,360,704
営業利益	511,747	390,169
営業外収益		
受取利息	2,365	26
受取配当金	11,832	12,939
受取保険金	7,382	8,475
その他	11,176	22,119
営業外収益合計	32,757	43,560
営業外費用		
支払利息	73,276	86,913
融資手数料	19,600	19,868
為替差損	4	1
その他	11,572	31,528
営業外費用合計	104,454	138,313
経常利益	440,050	295,416
特別損失		
固定資産除却損	—	9,865
特別損失合計	—	9,865
税金等調整前四半期純利益	440,050	285,551
法人税等	140,935	109,784
四半期純利益	299,115	175,767
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	21,581	△4,365
親会社株主に帰属する四半期純利益	277,533	180,133

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	299,115	175,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83,483	△95,794
繰延ヘッジ損益	△48,339	△72,569
その他の包括利益合計	△131,822	△168,363
四半期包括利益	167,292	7,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,853	11,678
非支配株主に係る四半期包括利益	21,438	△4,275

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	440,050	285,551
減価償却費	338,684	336,176
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	7,142
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,432	3,341
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,000	△31,650
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,656	6,291
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,240	10,850
受取利息及び受取配当金	△14,198	△12,965
支払利息	73,276	86,913
固定資産除売却損益(△は益)	—	9,865
投資有価証券償還損益(△は益)	—	845
投資有価証券売却損益(△は益)	△408	—
売上債権の増減額(△は増加)	△568,686	△480,151
たな卸資産の増減額(△は増加)	△59,837	△195,658
仕入債務の増減額(△は減少)	239,560	143,996
未払金の増減額(△は減少)	45,603	20,661
未払消費税等の増減額(△は減少)	110,494	△225,744
未収消費税等の増減額(△は増加)	457,426	—
為替差損益(△は益)	4	1
その他	△137,649	△40,915
小計	921,786	△75,448
利息及び配当金の受取額	14,193	12,960
利息の支払額	△72,732	△86,638
法人税等の支払額	△171,510	△202,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	691,736	△351,650
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△746,368	△962,249
無形固定資産の取得による支出	△5,833	△4,475
投資有価証券の取得による支出	△30,426	△34,000
投資有価証券の売却による収入	30,426	—
投資有価証券の償還による収入	—	29,580
差入保証金の差入による支出	△6,922	△8,752
差入保証金の回収による収入	9,448	5,844
預り保証金の受入による収入	285	77
その他	97,877	△17,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△651,513	△991,696

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	378,108	697,664
長期借入れによる収入	904,000	1,129,200
長期借入金の返済による支出	△296,726	△428,478
社債の償還による支出	△160,000	△250,000
配当金の支払額	△142,359	△147,035
非支配株主への配当金の支払額	△5,985	△5,985
自己株式の取得による支出	△79,767	△899,854
ストックオプションの行使による収入	19,611	11,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	616,881	106,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	657,100	△1,236,358
現金及び現金同等物の期首残高	4,050,942	5,570,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,708,042	4,334,194

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年9月25日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けにより自己株式684,300株を取得しております。

この自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が862,632千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が902,542千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年10月1日 至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	675,961	8,518,715	614,824	359,628	30,309	10,199,438	—	10,199,438
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	9,458	9,458	△9,458	—
計	675,961	8,518,715	614,824	359,628	39,768	10,208,897	△9,458	10,199,438
セグメント利益	284,822	352,034	92,406	39,679	8,253	777,195	△265,447	511,747

(注) 1. セグメント利益の調整額△265,447千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△269,784千円及びその他の調整額4,337千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売関 連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	685,874	7,088,157	513,992	353,805	30,541	8,672,370	—	8,672,370
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	10,358	10,358	△10,358	—
計	685,874	7,088,157	513,992	353,805	40,900	8,682,729	△10,358	8,672,370
セグメント利益 又は損失(△)	258,581	437,823	△12,869	35,136	9,393	728,065	△337,895	390,169

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△337,895千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,640千円及びその他の調整額745千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。